

2. 印刷サービスを取りまく環境の変化を考える 【3】

「印刷データをデジタル化すること自体」を目的とする段階は終わった。

つまり、紙版下やフィルムの代替として、**フィニッシュデータや素材データをデータベースやフォルダに入れておくこと**をもって「当社は進んでいる」という段階は終わったと思わなければならない。

ビジネスデータは、変化することこそをその本質としているのであり、

①入力・更新され→②保存され→③必要に応じて取り出されて→④加工されたり組み合わせられて→⑤**ビジネス目的に応じた表現形式を与えられて**→⑥**ビジネスに役立つものとして発信されるもの**、といっても良いと思う。

- 最近、新しいビジネス目的の実現に向けて上記の①～⑥を見直した結果として、**当社のOne To One教材作成システムソリューションが複数の印刷発注企業に導入された**（印刷自体は従来どおり印刷会社に発注される）。
- 印刷会社にも当然相談していたが、リアルな提案がなかったそうである。**QuarkなどのDTPページデータとして実体化しているデジタルデータは、One To One教材作成には全く役に立たないので提案のしようがなかったのかもしれない。**
- 上記の③④の自動化にソリューションを持たなければ、⑤⑥は実現できない。